◆
実践事例
1年
説明

# ダイコンは大きな根？

**説明の工夫を生かして，野菜について説明文を書こう**

わかりやすい文章構成や説明の工夫について考える

## 学習のねらい

・段落の役割に着目しながら，文章の内容をとらえる。
・筆者の説明のしかたの工夫について考える。

## 学習の流れ（全4時間）

**第1次（1時間）**
**話題に対する関心を高め，全文を読んで内容の大体をつかむ。**
① いろいろな野菜について，どの部分を食べているのかを考え，関心を高める。Ⓐ
② 全文を読んで内容の大体をつかむ。Ⓑ

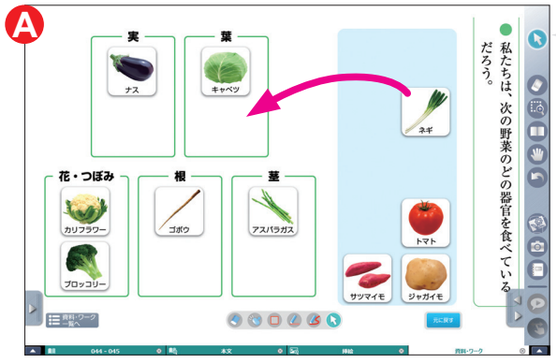
**第2次（1時間）**
**各段落の内容を読み取り，文章構成を理解する。**
① 文章構成について，小学校の学習を振り返る。Ⓒ
② 問いと答えの関係に注意して，文章構成を捉える。Ⓓ

**第3次（2時間）**
**筆者の説明の工夫について考え，自分で説明文を書く。**
① わかりやすい説明のために筆者がどのような工夫をしているかを考える。Ⓔ
② 他の野菜について，わかりやすい説明の工夫を生かし，説明文を書く。Ⓕ

## 「国語デジタル教科書」活用の具体例

### 第1次①② 話題に対する関心を高め，全文を読んで内容の大体をつかむ。

Ⓐ



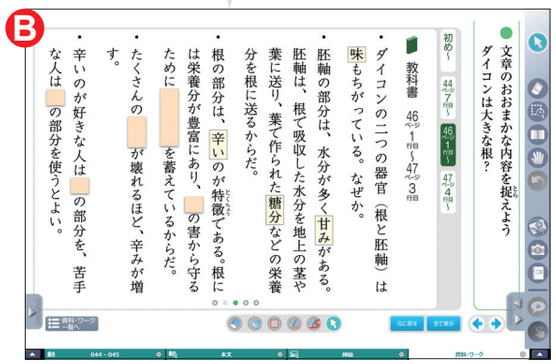

資料・ワーク：
「私たちは，次の野菜のどの器官を食べているだろう」

第1段落の導入部分を読み，私たちは野菜のどの器官を食べているのかを考える。デジタル教科書のワーク（Ⓐ）を使い，ナスやブロッコリーなどの野菜についてどの部分を食べているのかをそれぞれ考えさせた。野菜カードを生徒の目の前で移動させて答え合わせをしながら，関心を高めていった。

**生徒の反応　授業の導入が盛り上がる**

クイズのような導入で，生徒はたいへん盛り上がった。身近な野菜について意外に知らないことがあることがわかったようで，文章を読む格好の動機付けとなった。

Ⓑ



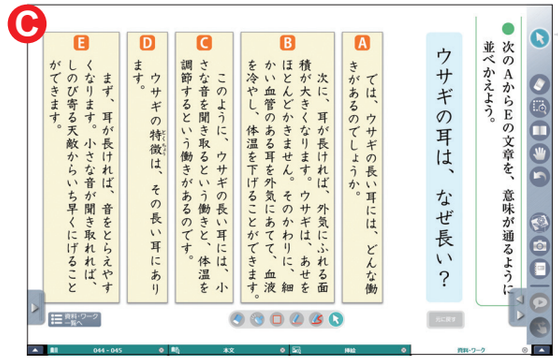

資料・ワーク：
「文章のおおまかな内容を捉えよう」

通読後，デジタル教科書のワーク「文章のおおまかな内容を捉えよう」（Ⓑ）を用い，キーワードを文章中から答えさせた。全員で声を出し，テンポよく確認できた。

第1時で内容の共通理解を図ることによって，以降で，文章構成や説明の工夫にポイントを置くことができる。

### 第2次①② 各段落の内容を読み取り，文章構成を理解する。

Ⓒ




資料・ワーク：
「次の文章を，意味が通るように並べかえよう」

文章構成については，小学校ですでに「初め」「中」「終わり」の構成を学習してきている。その振り返りも踏まえ，ワークの「次の文章を，意味が通るように並べかえよう」（Ⓒ）に取り組んだ。教科書外の平易で短い文章を読み，説明文の基本的な文章構成を確認することができた。

Ⓓ




資料・ワーク：
「本文を抜き出して，読みを深めよう」（黒板ツール）

デジタル教科書の「黒板ツール」（Ⓓ）を活用して，文章構成を確認していく。本教材は，「初め（序論）」「中（本論）」「終わり（結論）」の三つの内容のまとまりで成り立ち，「中」の部分は二つの問いで構成されている。問いと答えの対応に着目させて，生徒と一緒に画面上で文章構成を明らかにしていく。

「黒板ツール」は教材文から言葉や文を選択すると，その部分がカード化される。色も選択できるので，内容を分類，整理しやすい。

**生徒の反応　小学校の学習を振り返る**

説明的な文章の構成を平易な文章で練習できたことによって，自信をもって「ダイコンは大きな根？」の構成を考えることができたようだ。小学校で学習した内容も思い出すことができていた。

### 第3次①② 筆者の説明の工夫について考え，自分で説明文を書く。

Ⓔ

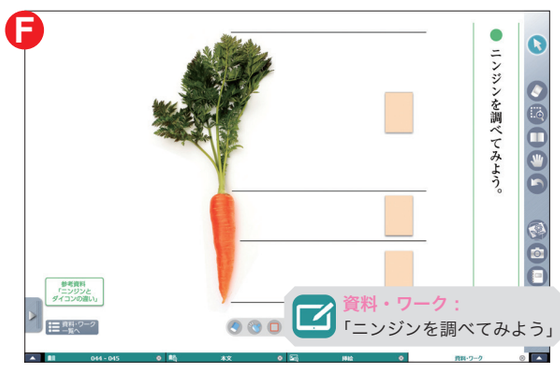



資料・ワーク：
「本文の段落を正しく並べかえよう」

前時の振り返りとして，本教材の文章構成を確認した。ワーク「本文の段落を正しく並べかえよう」（Ⓔ）では，「ダイコンは大きな根？」が段落ごとにカードになっていて，入れ換えて文章を再現することができる。

自分で文章を書くことを意識して，文章構成とともに，筆者の説明の工夫も考えさせた。「問い」と「答え」を対応させる，比較して説明する，図を用いるなどに気づかせる。

Ⓕ




資料・ワーク：
「ニンジンを調べてみよう」

最終時に，ワーク「カブを調べてみよう」「ニンジンを調べてみよう」（Ⓕ），あるいは教科書44ページの写真から野菜を選び，筆者の説明の工夫を活用しながら，その野菜の器官について説明する文章を書いた。

**国語デジタル教科書を活用した感想**

中学校で初めての説明文なので，小学校の学習の振り返りも意識した。振り返りに役立つ練習的なワークや興味付けの素材が多く，いろいろ試みることができた。適宜必要なものを選択して使えばよいと思う。